

令和元年度（2019年度）

みんなの川の環境調査
－川の生き物と水質を調べてみよう－

報告書

令和3年（2021年）3月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れのもととなる物を流す工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対し関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。これは河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「Ⅰ：快適な水環境」、「Ⅱ：親しめる水環境」、「Ⅲ：不快を感じない水環境」、「Ⅳ：多少不快な水環境」及び「Ⅴ：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」となっています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必ず必要であり、また、自らの身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺が繁殖の場である場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わり、総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こういったことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

本調査に参加することにより、身近な河川等に関心をもっていただくとともに、その河川等を汚さないためにはどのように行動すればよいのかを考えていただくきっかけになれば幸いです。

最後に、本書をまとめるに当たり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導協力をしていただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和3年（2021年）3月
熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

I. 調査の目的、方法、結果の概要	-----	1
II. 各団体の調査結果	-----	7

I 調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表 - 1 に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等29団体のがべ48地点で調査を実施し、のべ1,250人が参加しました。

調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が10団体、学校関係が19団体でした。

また、調査場所48地点の内訳からは、緑川水系（13地点）や白川水系（6地点）、菊池川水系（4地点）、球磨川水系（9地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

指標生物及び簡易水質調査結果（表 - 2）

生物から見た水環境評価では、調査地点23地点中、評価値「快適な水環境」が17地点、評価値「親しめる水環境」が3地点、評価値「不快を感じない水環境」3地点、評価値「多少不快な水環境」が0地点、評価値「不快な水環境」は0地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点44地点中、評価値「快適な水環境」が19地点、評価値「親しめる水環境」が18地点、評価値「不快を感じない水環境」が6地点、評価値「多少不快な水環境」が1地点、評価値「不快な水環境」は0地点でした。

調査を実施した48地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等を7ページ以降に示しました。

表 - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 I - 2 令和元年度(2019年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	水質	九州テクニカルメンテナンス	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	13	9/14	II	-
2		水質		梶尾川	白川	熊本市	北部坪井橋付近	13	9/14	II	-
3		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	13	9/14	I	-
4		水質		坪井川	白川	熊本市	平成大橋付近	11	9/28	II	-
5		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	11	9/28	I	-
6		水質		井芹川	白川	熊本市	第一池上橋付近	11	9/28	II	-
7		水質		亀川		天草市	明亀橋付近	18	7/24	II	-
8		水質		亀川		天草市	桶渡橋付近	18	7/24	II	-
9		水質		木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	21	8/4	I	-
10		水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	21	8/4	I	-
11		水質		木山川	緑川	益城町	新川橋付近	21	8/4	II	-
12	3	水質	北甘木活動組織 北甘木親子会	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	31	8/18	III	-
13		水質		天水川	緑川	嘉島町	天水川3号橋下流	31	8/18	II	-
14		水質		千原池		嘉島町	千原ため池	31	8/18	IV	-
15		水質		地下水		嘉島町	北甘木公民館	31	8/18	II	-
16	4	水質	県央広域本部一日河川パトロール 熊本市立出水小学校	加勢川	緑川	熊本市	砂取橋付近	80	8/29	I	-
17	5	水質	次世代のためにがんばる会	球磨川	球磨川	八代市	坂本段駅界隈	4	6/1	-	-
18		水質		球磨川	球磨川	八代市	八の字堰	4	6/1	-	-
19		水質		前川	球磨川	八代市	蛇籠港界隈	4	6/1	-	-
20	5	生物& 水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川	緑川	宇城市	宇城市豊野町山崎・巢林	17	9/7	I	III
21	6	生物& 水質	佐伊津地区振興会環境部会	隅田川		天草市	玉の橋付近	19	7/26	II	I
22	7	生物& 水質	NPO法人つわの花	中津川		天草市	旧島子小学校跡地	15	8/2	III	I
23	8	水質	菊池管内環境活動協議会 大津町立大津北小学校	湧水		大津町	大津町平川地区	18	10/12	I	-
24		水質		通潤用水	緑川	山都町	円形分水工	18	10/12	I	-
25		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くの リフレッシュ広場付近	18	10/12	III	-
26		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	18	10/12	I	-

次ページへ続く

表 I - 2 令和元年度(2019年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果(つづき)

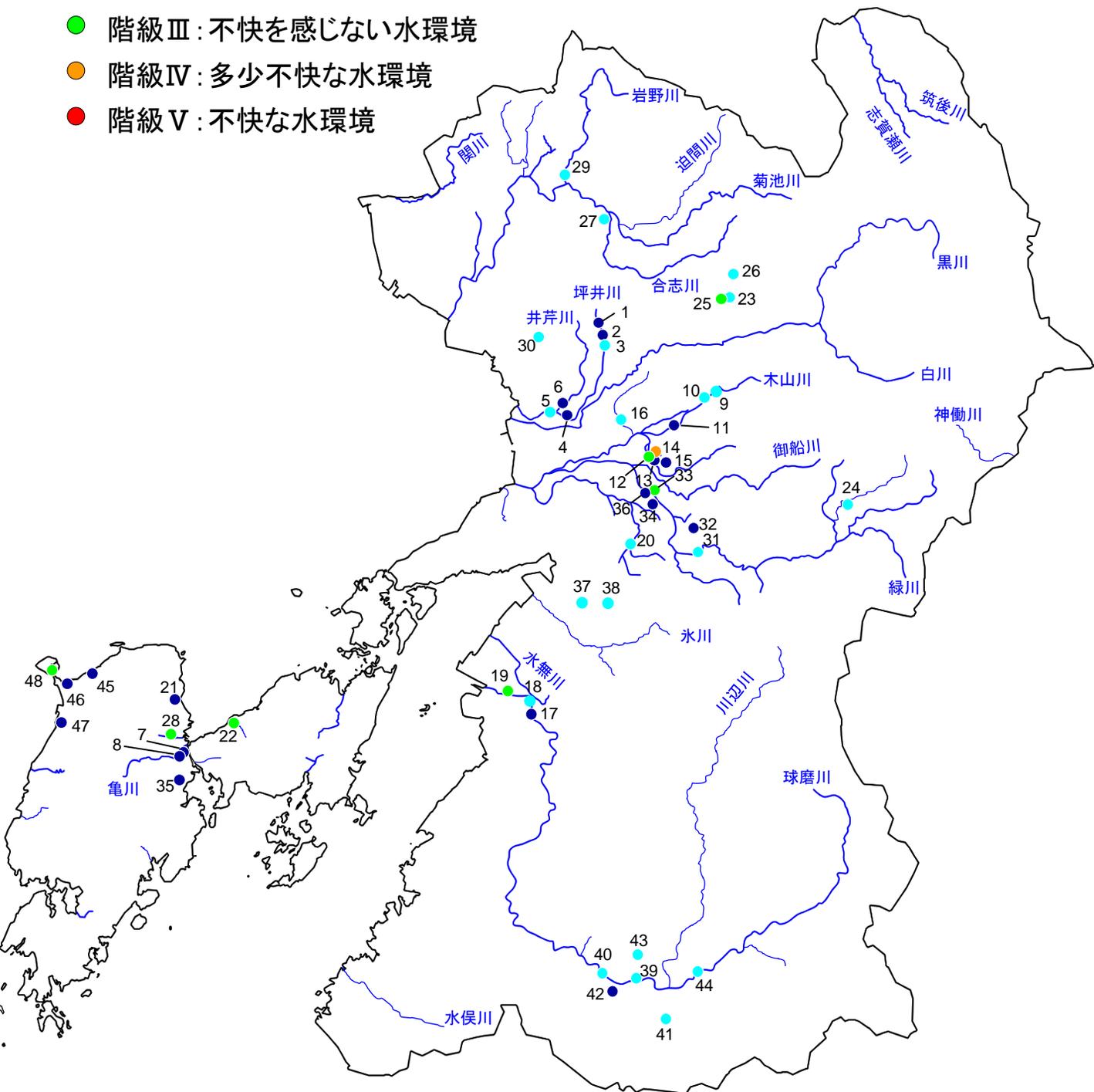
調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
27	9	生物&水質	菊池管内環境活動協議会 菊池市立泗水東小学校	日向川	菊池川	菊池市	菊池市泗水町永	47	10/31	I	I
28	10	生物&水質	山口地域活動クラブ	町山口川		天草市	仁田公民館付近(毘沙門橋下)	40	8/7	Ⅲ	Ⅲ
29	11	生物&水質	菊池川とその支流を美しくする 関係団体連絡協議会	岩野川	菊池川	山鹿市	鍋田水水遊び公園付近	19	8/1	I	I
30	12	生物&水質	河内公民館 芳野小学校5年生、河内小学校4年生	河内川	河内川	熊本市	金峰森の駅みちくさ館横	32	7/16	I	Ⅱ
31	13	水質	NPO「こうさEMの会」	緑川	緑川	甲佐町	井戸江狭	5	6/27	I	-
32		生物&水質		竜野川	緑川	甲佐町	知行	4	6/27	Ⅱ	I
33		生物&水質		緑川	緑川	甲佐町	乙女橋下流	9	6/27	Ⅲ	I
34		水質		錦郷川	緑川	甲佐町	津志田河原	2	6/27	Ⅱ	-
35	14	生物&水質	天草広域本部一日河川パトロール 楠浦小学校	方原川	方原川	天草市	楠浦眼鏡橋付近	23	6/4	Ⅱ	I
36	15	生物&水質	上益城地域振興局一日河川パトロール 益城町立広安小学校	緑川	緑川	甲佐町	甲佐町津志田自然公園	144	9/12	Ⅱ	I
37	16	生物&水質	宇城市立小川小学校	砂川	砂川	宇城市	砂川橋	19	9/27	I	I
38	17	生物	宇城市立小野部田小学校	御手洗水源		宇城市	小川町 御手洗水源	15	7/2	-	I
39	18	生物&水質	人吉市立人吉東小学校	球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	95	5/27	I	I
40	19	生物&水質	人吉市立中原小学校	球磨川	球磨川	人吉市	紅取橋付近	49	5/13	I	I
41	20	生物&水質	人吉市立大畑小学校	鳩胸川	球磨川	人吉市	上麓橋下	30	5/22	I	I
42	21	生物&水質	人吉市立西瀬小学校	永野川	球磨川	人吉市	永野橋上流	43	6/5	Ⅱ	I
43	22	生物&水質	人吉市立人吉西小学校	山田川	球磨川	人吉市	鶴亀橋下	39	5/30	I	I
44	23	生物&水質	錦町立木上小学校	球磨川	球磨川	錦町	球磨大橋付近	18	9/6	I	Ⅱ
45	24	生物&水質	苓北町立坂瀬川小学校	少路川		苓北町	坂瀬川小学校横	12	10/21	Ⅱ	I
46	25	生物&水質	苓北町立志岐小学校	志岐川		苓北町	八竜橋付近	24	10/21	Ⅱ	Ⅱ
47	26	生物&水質	苓北町立都呂々小学校	舞子川		苓北町	舞子橋付近	14	10/25	Ⅱ	I
48	27	生物&水質	苓北町立富岡小学校	中山川		苓北町	袋池上流	10	10/25	Ⅲ	Ⅲ
								環境団体等	10		
								学校関係	19		
								のべ調査地点	48		
								のべ調査人数	1,250		

水系	合計
緑川	13
白川	6
菊池川	4
球磨川	9

調査結果	水質	生物
I	19	17
Ⅱ	18	3
Ⅲ	6	3
Ⅳ	1	0
V	0	0
合計	44	23

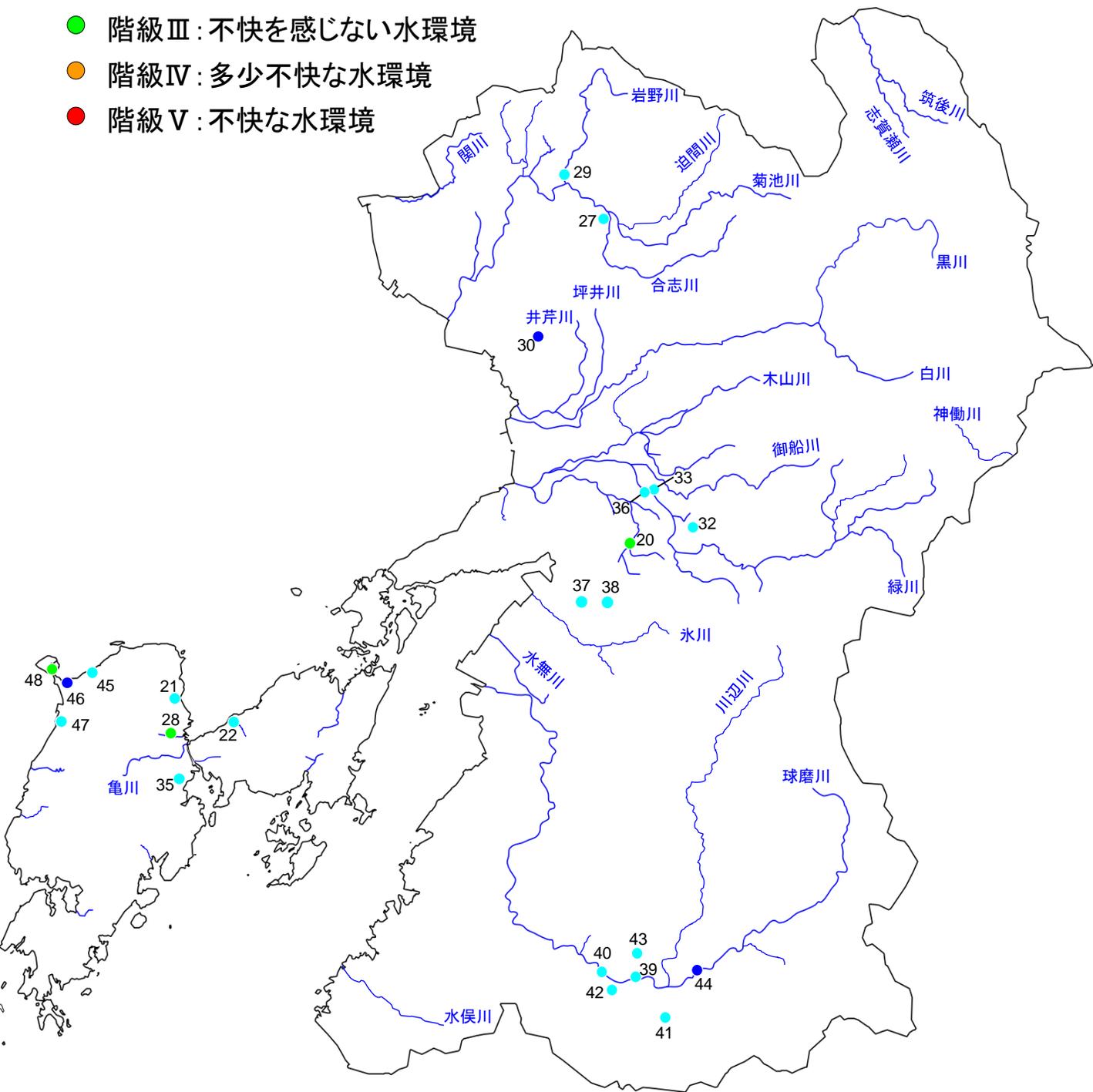
※ 表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境



図Ⅰ-1 水質評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境



図Ⅰ-2 指標生物評価結果マップ

Ⅱ 各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月14日	調査時間	8:50
調査日天候	晴	気温	26.2 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22.5 °C		
a. 水の色	①無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	①6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. ⑤0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	①なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ:

川の水はとても澄んでいました。
また、川には人工のブロックが設けられていました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月14日	調査時間	9:00
調査日天候	晴	気温	28.4 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	25.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ:

川の水が少し濁っており、流れも少ないように感じました。

藻類が多く繁殖していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月14日	調査時間	9:10
調査日天気	晴	気温	28.4 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23.9 °C		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ:

川の水はとても澄んでいました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	11人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月22日	調査時間	9:20
調査日天気	晴	気温	30.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	24.5 °C
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.4 点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 2.4 点 階級 IV	

メモ:

- ・鯉、カモが泳いでいた。
- ・川の流りがゆっくりで枯れ葉等が流れていた。
- ・川岸に藻が繁殖していた。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	高橋稻荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	11人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月22日	調査時間	9:25
調査日天候	晴	気温	30.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	26.3 °C
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.0 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 2.4 点 階級 IV	

メモ:

・木くず等のゴミが流れていた。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	11人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月22日	調査時間	9:50
調査日天候	晴	気温	30.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3.0 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	23.8 °C
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.4 点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 2.0 点 階級 III	

メモ:

・全体的にキレイな川ではなく、ゴミが多いと感じた。
 (ただし人口的なゴミは少なく、木くず等が多かった)

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 7

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年7月24日	調査時間	6:30
調査日天候	晴	気温	24.0

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	19.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	②. 小石	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	②. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ:

降雨の影響により水量が多く、水質は若干白濁していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 8

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年7月24日	調査時間	7:00
調査日天候	晴	気温	24.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	19.0 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	中瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. ロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ:

降雨の影響により水量が多く、水質は若干白濁していました。
又、鯉の生息が確認されました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	21人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月4日	調査時間	9:30
調査日天候	晴	気温	32.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	22.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ:

・川の水は非常にきれいでした。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名 <small>ちょうさかせんめい</small>	木山川 <small>すいけい みどりかわ (水系 緑川)</small>		
調査地点名 <small>ちょうさちてんめい</small>	三竹橋付近		
調査団体名 <small>ちょうさだんたいめい</small>	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名 <small>たいひょうしゃめい</small>		参加人数	21人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月4日	調査時間	9:30
調査日天候	晴	気温	28.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <small>けいりゅういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゅういき</small>	3. 平地流域 <small>ちりゅういき</small>
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22.2℃
a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.0$ 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 <small>はやせ</small>	平瀬 <small>ひらせ</small>	
f. 石の状態	1. 浮き石 <small>うきいし</small>	3. 沈み石 <small>しずみいし</small>	
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん		
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 <small>さなぎ</small>	3. 泥(腐敗) <small>どろ ふはい</small>	
i. 付着藻類色 <small>ふちやくそうるいしよく</small>	①. 茶緑色 <small>ちやりよく</small>	2. 緑色 <small>みどりいろ</small>	3. 白灰黒色 <small>しろはいくろしよく</small>
j. 付着藻類量 <small>ふちやくそうるいりよう</small>	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.6$ 点 階級 II			

メモ:

- ・川底が見えるほどきれいでした。
- ・川の廻りは、雑草が多かったです。
- ・鯉が二匹見られました。
- ・トンボが数匹見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系 緑川)		
調査地点名	新川橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	21人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月4日	調査時間	9:55
調査日天候	晴	気温	35.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	25.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ:

- ・地震の影響で橋が工事中だった為、仮設の橋にて採水しました。
- ・小魚が多数見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No.12

調査河川名	矢形川 (水系 緑川)		
調査地点名	石塚橋下流右岸(嘉島町北甘木)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名		参加人数	3 / 人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月18日	調査時間	9時
調査日天候	曇り	気温	28 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	①.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	②.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
① 評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級

2. 水質を調べる

水温	25 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
② 水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 4.8$ 点 階級

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 13

調査河川名	天水川 (水紫 緑川)		
調査地点名	天水川3号橋下流右岸(嘉島町北甘木)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	3 / 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月18日	調査時間	9時
調査日天候	曇り	気温	28 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
① 評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級

2. 水質を調べる

水温	26 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
② 水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1.6$ 点 階級

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 淨き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 14

調査河川名	すいけい (水系)		
調査地点名	干原ため池(嘉島町北甘木)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	3 / 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月18日	調査時間	9時
調査日天候	曇り	気温	28 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級

2. 水質を調べる

水温	26 °C
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 ③ 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 2.4$ 点 階級

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い 3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 15

調査河川名	(水系)		
調査地点名	北甘木公民館(嘉島町北甘木)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名	参加人数	3 / 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月18日	調査時間	9時
調査日天候	くもり	気温	28 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	24 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	加勢川 (水系 緑川)		
調査地点名	砂取橋付近		
調査団体名	県央広域本部一日河川パトロール 熊本市立出水小学校 5年生		
代表者名	参加人数	80 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月29日	調査時間	10時30分~12時
調査日天候	雨	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

調査当日が雨天だったため、熊本県県央広域本部土木部の会議室において、8月28日17時頃に採水した水を使い水質を調べた。また、上江津湖の複数地点から採取した底生生物を用いて、水質環境評価の体験を行った。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	坂本段駅界限		
調査団体名	次世代のためにがんばる会		
代表者名	参加人数	4 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年6月1日	調査時間	16:25
調査日天候	晴れ(もり)	気温	25 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	22.5°C
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 (ひらせ 平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 (2) 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで後で便利です。

鳥のさすり有り
トニボ

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	八の字堰		
調査団体名	次世代のためにがんばる会		
代表者名	参加人数	4 人	
連絡先住所			
調査年月日	6月1日	調査時間	16:35
調査日天候	曇り	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	27.5℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

・ カワニナ
・ 小魚(ヒヤ)たくさんいた

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	蛇籠港界限		
調査団体名	次世代のためにがんばろ会		
代表者名	参加人数	4 人	
連絡先住所			
調査年月日	調査時間		
調査日天候	気温	25.5 °C	

階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じな い水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	22 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 ③ 白 ④ 黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上 (1.5)
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ③ ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 すなどろ 3. 泥(腐敗) どりふはい
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色 しろはいくろしよく
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし
川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 20

調査河川名	浜戸川 (水系 緑川水系)
調査地点名	宇城市 豊野町 山崎・単林
調査団体名	豊野町 みぎりの少年団
代表者名	参加人数 17名
連絡先住所	電話: ()

調査年月日	調査時間	天候	気温
2019.9.7(土)	10:15	曇り	32℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	② 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5点 階級 N			

2 水質を調べる

水温	25℃
a 水の色	① 無色 2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	① 無臭 3 臭いあり
c 透視度	100cm ① 80cm以上 2 60cm以上 3 60cm未満
d pH	7.5 ① 6.5~8.5 3 6.4以下、8.6以上
e COD	4 ① 5.0mg/l未満 3 5.0mg/l以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 1.0点 階級 I	

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草類 ③ 藻類
f 石の状態	1 淨石 ③ 洗み石
g 石の大きさ	1 すいか ② メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし ② 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色 ② 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない ② 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 2.2点 階級 II	

階級	水環境の 快適さ	① 評価の 基礎点	評価点	
			② 水質	③ 川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な 水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

又々々

年組
名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その2)

No. 20

4. 底生動物を調べる

かいきょう 階級	No.	しひょうせいぶつめい 指標生物名	みずかんきょうちようさき 水環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
かいてき 快適な 水環境 (I)	1	カワゲラ類 <small>カワゲラ類</small>					
	2	ナガレトビケラ類					
	3	ヒゲナガカワトビケラ類					
	4	チラカゲロウ					
	5	携巢性トビケラ類					
	6	ニッポンヨコエビ	○				
	7	サワガニ					
あつしめ 親しめる 水環境 (II)	8	ウズムシ類					
	9	ヘビトンボ類		●			
	10	マダラカゲロウ類					
	11	タニガワカゲロウ類		○			
	12	ブユ類					
あふかい 感じない 水環境 (III)	13	カワニナ					
	14	ヒラタドロムシ類				○	
	15	コカゲロウ類				○	
	16	コガタシマトビケラ				○	
	17	ユスリカ類 (白・緑)					
たしふかい 多少不快な 水環境 (IV)	18	貝類					
	19	サホコカゲロウ					○
	20	ミズムシ (等脚目)					○
	21	ヒル類					○
あふかい 不快な 水環境 (V)	22	サカマキガイ					
	23	イトミミズ類					
	24	セスジユスリカ(赤)					
	25	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数 (○+●)	/	2	3	3	0
最も多い種の数 (●)		/					
得点の合計		/	3	3	3	0	
底生動物による 川の水環境評価の判定			II				

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	隅田川 (水系)		
調査地点名	佐伊津町下在郷		
調査団体名	佐伊津地区振興会環境部会		
代表者名	参加人数	19 人	
連絡先住所			
調査年月日	2019.7.26	調査時間	9:30
調査日天候	晴れ	気温	31℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	28 ℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4点 階級 IV			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

水質が良く、生物の生息状況からみて、隅田川は比較的にきれいであった。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 21

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
1.カワゲラ類 2.ナガレトビケラ類 3.ヒゲナガカワトビケラ 4.チラカゲロウ 5.携巢性トビケラ類 6.ニッポンヨコエビ・サワガニ 7.ヒラタカゲロウ類	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
8.ウズムシ類 9.ヘビトンボ類 10.マダラカゲロウ類 11.タニガワカゲロウ類 12.ブユ類・ガガンボ類	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
13.カワニナ 14.ヒラタドROMシ 15.コカゲロウ類 16.コガタシマトビケラ 17.ユスリカ類(白・緑)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
18.貝類 19.サホコカゲロウ 20.ミズムシ(等脚目) 21.ヒル類	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキ貝					
22.サカマキ貝 23.イトミズ類 24.セスジユスリカ(赤) 25.ホシチョウバエ	22. サカマキ貝					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	0	1	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	3	0	1	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中津川 (水系)		
調査地点名	旧島子小学校跡地		
調査団体名	NPO法人つわの花		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月2日	調査時間	10:00~11:45
調査日天候	晴れ	気温	30℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	27.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4点 階級 II			

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 22

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類	○				
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ				○	
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ				○	
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジュスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	1	2	0	0
	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
	得点の合計	4	1	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水)(水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和1年10月3日	調査時間	10時
調査日天候	曇り	気温	25℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 1.5$ 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	17℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名 <small>ちようさ かせん ぬい</small>	通潤用水 <small>すいけい みどりかわ</small> (水系 緑川)		
調査地点名 <small>ちようさ ちてんぬい</small>	円形分水工		
調査団体名 <small>ちようさ だんたいぬい</small>	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名 <small>だいひょうしゃぬい</small>	参加人数	18人	
連絡先住所 <small>れんらく せんしよ</small>			
調査年月日	令和1年10月3日	調査時間	10時
調査日天候	曇り	気温	25℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 1点 階級			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	令和1年10月3日	調査時間	10時
調査日天候	曇り	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	23℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	江崎 孝俊	参加人数	18人
連絡先住所			
調査年月日	令和1年10月3日	調査時間	10時
調査日天候	曇り	気温	25℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 合志川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	47 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和1年10月31日	調査時間	9時00分～11時30分
調査日天候	晴	気温	20 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	10 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

「どんかつちよ」を初めて採取し、サワガニが一番多く採取できたことから、きれいな川になっていることを感じた。



川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 27

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	3	3	2	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	4	3	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	仁田公民館付近(毘沙門橋下)		
調査団体名	山口地域活動クラブ		
代表者名	参加人数	40 人	
連絡先住所			
調査年月日	2019.8.7	調査時間	9:30
調査日天候	晴れ	気温	33℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	26 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 28

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
最適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	1	2
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	1	2	2	2
底生動物による川の環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩野川 (菊池川水系)		
調査地点名	鍋田水遊び公園付近		
調査団体名	菊池川とその支流を美しくする関係団体連絡協議会		
代表者名	参加人数	子ども6人、大人13人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年8月1日	調査時間	午前9時15分
調査日天候	晴れ	気温	33.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	26.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

調査は鍋田橋と上流の堰の間で行った。護岸に「鍋田水遊び公園」が整備されており、当日も朝から家族連れが公園で遊んでいた。調査地点の水深はおおむね膝下程度。指標生物のほかに、大きなコイ、フナ、ウグイなどが見られ、参加した子どもたちは魚取りに夢中だった。

山鹿市役所環境課 藤本

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 29

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	3	2	1
	最も多い種の数(●)	1	1			
	得点の合計	5	4	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	河内川 (水系 金峰山)		
調査地点名	金峰森の駅みちくさ館横		
調査団体名	河内公民館(芳野小5年・河内小4年生)		
代表者名	参加人数	32 人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年7月16日	調査時間	14時
調査日天候	晴	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (1)	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1 点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 30

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類	●				
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキ貝					
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	1	3	
	得点の合計	最も多い種の数(●)		1		
底生動物による 川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	緑川 (水素)		
調査地点名	緑川上流 神戸江峡(管内)		
調査団体名	EMの会		
代表者名	参加人数	5人	
連絡先住所			
調査年月日	R1.6.27	調査時間	15:30
調査日天候	くもり時々晴れ	気温	28.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	26.0℃
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 (3) 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (3) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

前年は5月21日でした。
 今年は6月27日と1ヶ月
 以上遅い為温度も水温も6℃以上高かった

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	竜野川 (水紫 緑川)		
調査地点名	甲作町知行(浅井)		
調査団体名	ころさEMの会		
代表者名	参加人数	4人	
連絡先住所			
調査年月日	R1.6.27	調査時間	15:20
調査日天候	①	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0		1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			①1.4	①1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	②2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	25℃		
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色		
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり		
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満 96		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上 7.5		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ② 5.0mg/L以上 12		
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 草瀬 ② 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携果性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)	●	●			
	9. ヘビトンボ類		●			
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類	○	●			
	12. ブユ類・ガガンボ類	○	●			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ	●		●		
	14. ヒラタドROMシ			●		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				●	
	20. ミズムシ(等脚目)				●	
	21. ヒル類	○			●	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					●
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					●
	25. ホシチョウバエ					●
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	1	1
得点の集計	最も多い種の数(●)	1	1	1		
得点の集計	得点の合計	5	4	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	緑川下流(水系: 緑川)		
調査地点名	D 廿橋下流		
調査団体名	甲信玄M9会		
代表者名		参加人数	9人
連絡先住所			
調査年月日	令和元.6.27	調査時間	15:00~16:00
調査日天候	曇	気温	26.7℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点	$(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級

2. 水質を調べる

水温	26.7℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点	$(a+b+c+d+e)/5 = 1.8$ 点 階級

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点	$(f+g+h+i+j)/5 = 1.6$ 点 階級

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 33

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		●			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類				○	
	16. コガタシマトビケラ				●	
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					●
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	1		
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	6				
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	錦郷川(水素)		
調査地点名	甲佐町中山		
調査団体名	甲佐EMの会		
代表者名	参加人数	2人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年6月27日	調査時間	15:30
調査日天候	くもり時々晴	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <input type="checkbox"/> 2. 山間流域 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 平地流域 <input type="checkbox"/>
B. 川の背景	1. 森林 <input type="checkbox"/> 2. 畑・水田 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 市街地 <input type="checkbox"/>
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	26.5℃
a. 水の色	1. 無色 <input type="checkbox"/> 2. 緑茶色 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 白・灰・黒色 <input type="checkbox"/>
b. 水の臭い	1. 無臭 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 臭いあり <input type="checkbox"/> 3. 臭いあり <input type="checkbox"/>
c. 透視度	1. 80cm以上 <input type="checkbox"/> 2. 60cm以上 <input type="checkbox"/> 3. 60cm未満 <input checked="" type="checkbox"/>
d. pH	1. 6.5~8.5 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 6.4以下 <input type="checkbox"/> 3. 8.6以上 <input type="checkbox"/>
e. COD	1. 5.0mg/L未満 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 5.0mg/L以上 <input type="checkbox"/>
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.6 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで後で便利です。

川の中に一面よしが生えていて水は濁っていた為採取出来なかった。

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 卓瀬 <input type="checkbox"/> 2. 平瀬 <input checked="" type="checkbox"/>
f. 石の状態	1. 浮き石 <input type="checkbox"/> 2. 沈み石 <input checked="" type="checkbox"/>
g. 石の大きさ	1. すいか <input type="checkbox"/> 2. メロン <input checked="" type="checkbox"/> 3. みかん <input type="checkbox"/>
h. 堆積物の種類	1. なし <input type="checkbox"/> 2. 砂泥 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 泥(腐敗) <input type="checkbox"/>
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 緑色 <input type="checkbox"/> 3. 白灰黒色 <input type="checkbox"/>
j. 付着藻類量	1. 少ない <input type="checkbox"/> 2. 多い <input checked="" type="checkbox"/> 3. マット状 <input type="checkbox"/>
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点 階級	

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 34

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	■				
	2. ナガレトビケラ類	■				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	■				
	4. チラカゲロウ	■				
	5. 携巢性トビケラ類	■				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	■				
	7. ヒラタカゲロウ類	■				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		■			
	9. ヘビトンボ類		■			
	10. マダラカゲロウ類		■			
	11. タニガワカゲロウ類		■			
	12. ブユ類・ガガンボ類		■			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			■		
	14. ヒラタドロムシ			■		
	15. コカゲロウ類			■		
	16. コガタシマトビケラ			■		
	17. ユスリカ類(白・緑)			■		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				■	
	19. サホコカゲロウ				■	
	20. ミズムシ(等脚目)				■	
	21. ヒル類				■	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					■
	23. イトミズ類					■
	24. セスジユスリカ(赤)					■
	25. ホシチョウバエ					■
得点の集計	出現した種の数(○+●)					
	最も多い種の数(●)					
	得点の合計					
底生動物による川の水環境評価の判定						

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	方原川 (水素方原川水系)		
調査地点名	楠浦眼鏡橋付近		
調査団体名	一日河川パトロール(楠浦小学校)		
代表者名	参加人数	23人	
連絡先住所			
調査年月日	令和元年6月4日	調査時間	10:30
調査日天候	くもり	気温	29.2℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = /点 階級 I			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 35

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキ貝					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	0	1
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	3	0	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	緑川 (水系 緑川)		
調査地点名	甲佐町津志田自然公園		
調査団体名	上谷水環境振興会一日河川パトロール		
代表者名	谷城町立小津校長	参加人数	144人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年9月12日	調査時間	9時30分
調査日天候	晴	気温	28.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5点 Ⅱ階級	

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色		
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり		
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4点 Ⅱ階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 ③ 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い ③ マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.6点 Ⅱ階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 36

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	●					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		●				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ		○				
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)			○			
水 環 境 (IV) 多 少 不 快 な	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)				○		
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキ貝				○		
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジュスリカ(赤)					○	
	25. ホシチョウバエ					○	
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	1		
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	1			
得点の集計	得点の合計	5	3	1			
底生動物による川の水環境評価の判定		I 快適な水環境					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	砂川 (水系)		
調査地点名	砂川橋		
調査団体名	宇城市立小川小学校		
代表者名	参加人数	19人	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	令和元年9月27日	調査時間	9:00~11:00
調査日天候	晴れ	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	①.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	①.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	③.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	23.5℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	ひらせ	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 37

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ						
	14. ヒラタドロムシ						
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不快な水環境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	1	0	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1				
得点の集計	得点の合計	4	3	1	0	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 38

調査河川名	小川町 御手洗水源 (水系)
調査地点名	"
調査団体名	宇城市立小野部田小学校 4年生
代表者名	参加人数 15名
連絡先住所	電話: ()

調査年月日	調査時間	天候	気温
R1. 7. 2	45分	雨	21.5℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	① 渓流域	2 山間流域	3 平地流域
B 川の背景	① 森林	2 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 1.0 点 階級 I			

2 水質を調べる

水温	℃			
a 水の色		① 無色	2 緑茶色	3 白・灰・黒色
b 水の臭い		① 無臭	3 臭いあり	
c 透視度	cm	1 80cm以上	2 60cm以上	3 60cm未満
d pH		1 6.5~8.5	3 6.4以下、8.6以上	
e COD		① 5.0mg/1未満	3 5.0mg/1以上	
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 点 階級				

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 草瀬	平瀬
f 石の状態	① 浮石	3 洗み石
g 石の大きさ	1 すいか	② メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	① なし	② 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	① 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	① 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 1.2 点 階級 II		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	① 評価の 基礎点	評価点	
			② 水質	③ 川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感ぜない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。



年組
名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その2)

No. 38

4. 底生動物を調べる

かいきょう 階級	No.	しひょうせいぶつめい 指標生物名	みずかんきょうちようさき 水環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1	カワゲラ類					
	2	ナガレトビケラ類					
	3	ヒゲナガカワトビケラ類	○				
	4	チラカゲロウ	○				
	5	携帯性トビケラ類					
	6	ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8	ウズムシ類 (プラナリア)		○			
	9	ヘビトンボ類					
	10	マダラカゲロウ類					
	11	タニガワカゲロウ類					
	12	ブユ類・ガガンボ類					
感じない水環境 (III)	13	カワニナ			○		
	14	ヒラタドロムシ類			○		
	15	コカゲロウ類					
	16	コガタシマトビケラ					
	17	ユスリカ類 (白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18	貝類 (モノアラガイ)					
	19	サホコカゲロウ					
	20	ミズムシ (等脚目)					
	21	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22	サカマキガイ					
	23	イトミミズ類					
	24	セスジユスリカ (赤)					
	25	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数 (○+●)	3	1	2		
	最も多い種の数 (●)	1					
	得点の合計	4	1	2			
底生動物による 川の水環境評価の判定			I: 快適な水環境				

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	中川原公園		
調査団体名	人吉東小学校 5年生		
代表者名	人吉東小学校長	参加人数	95人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年5月27日	調査時間	13:50
調査日天候	くもり	気温	25℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	19.5℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						○
25. ホシチョウバエ						○
得 点 の 集 計		出現した種の数(○+●)	6	5	3	1
	最も多い種の数(●)	2	0	0	0	0
	得点の合計	8	5	3	1	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	紅取橋付近		
調査団体名	中原小学校 5年生		
代表者名	中原小学校長	参加人数	49人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年5月13日	調査時間	14:30
調査日天候	くもり	気温	28.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2. 山間流域 3. 平地流域)
B. 川の背景	1. 森林 (2. 畑・水田 3. 市街地)
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	21 °C
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(はやみ 早瀬 ひらせ 平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2. メロン 3. みかん)
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ						
	14. ヒラタドロムシ						
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	2	0	1	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	7	2	0	1	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	鳩胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	上麓橋下		
調査団体名	大畑小学校		
代表者名	大畑小学校長	参加人数	30人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年5月22日	調査時間	9:15
調査日天候	晴	気温	19 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	15 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	●				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	7	3	3	1
最も多い種の数(●)	3	2	1	0	0	
得点の合計		10	5	4	1	2
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	永野川 (水系 球磨川)		
調査地点名	永野橋上流		
調査団体名	西瀬小学校 5年生		
代表者名	西瀬小学校長	参加人数	43人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年6月5日	調査時間	9:45
調査日天候	晴	気温	26 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	20 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	●					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			●			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ					○	
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ					○	
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	7	4	3	1	3
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	1	0	0
得点の集計	得点の合計	8	4	4	1	3	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	山田川 (水系 球磨川)		
調査地点名	鶴亀橋下流		
調査団体名	人吉西小学校 5年生		
代表者名	人吉西小学校長	参加人数	39人
連絡先住所			
調査年月日	令和元年5月30日	調査時間	14:00
調査日天候	晴	気温	30 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					○
	19. サホコカゲロウ					○
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	5	2	2	2
	最も多い種の数(●)	1	0	1	0	0
	得点の合計	6	2	3	2	2
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	球磨大橋付近		
調査団体名	錦町立 木上小学校		
代表者名		参加人数	18人
連絡先住所			
調査年月日	9月6日	調査時間	14:00~15:00
調査日天候	曇り・小雨	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2点 階級			

2. 水質を調べる

水温	22℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	② 平瀬	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 44

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境(IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	1	1
	最も多い種の数(●)		1			
	得点の合計	4	5	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	小路川 (水系)		
調査地点名	坂瀬川小学校横		
調査団体名	坂瀬川小学校5年生		
代表者名	参加人数	12人	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和元年10月21日	調査時間	14:30
調査日天候	晴れ	気温	23.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	20℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいが	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 45

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			◎			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ					○	
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	3	3	2
	最も多い種の数(●)	0	0	1	0	0	
得点の合計		5	4	4	3	3	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	志岐川 (水系)		
調査地点名	八竜橋付近		
調査団体名	志岐小学校5年生		
代表者名	参加人数	24人	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和元年10月21日	調査時間	10:50
調査日天候	晴れ	気温	26.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 46

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		◎			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	4	3	3
	最も多い種の数(●)	0	1	0	0	0
	得点の合計	4	5	3	3	2
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	舞子川 (水系)		
調査地点名	舞子橋付近		
調査団体名	都呂々小学校5年生4年生		
代表者名	参加人数	14人	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和元年10月25日	調査時間	14:40
調査日天候	晴れ	気温	24°C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	20.5°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 47

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	◎				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	4	2	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	5	4	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中山川 (水系)		
調査地点名	袋池上流		
調査団体名	富岡小学校5年生		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所	電話:		
調査年月日	令和元年10月25日	調査時間	11:00
調査日天候	晴れ	気温	28°C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	1.8	1.8
			2.0	2.0
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	21.3°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 48

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			◎		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	1	3	1
最も多い種の数(●)	0	0	1	0	0	
得点の合計		3	1	4	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

熊本県環境生活部環境局環境保全課

〒862-8570

熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号

電話 096-333-2271

E-mail: kankyouhozen@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/5691.html>

発 行 者：熊本県 所 属：環境保全課 発行年度：令和 2 年度 (2020 年度)

～本書は再生紙を使用しています～